

# 校長 だより

～卒業する君への手紙～

平成23年2月10日

沖縄県立読谷高等学校 校長 與那覇 健勇

憧れの読谷高校への入学が決まった日の感動を覚えていますか。天下を取った気持ちになったあの日を覚えていますか。親戚中の人が集まってお祝いしましたね。高校に合格しただけなのにもう大学は〇〇大学行くんでしょ。なんて言われましたね。・・・

本当に早いものであれからもう三年がたってしまいました。一年担任、二年担任、三年担任、教科担任、部活動の顧問、それぞれの先生の名前をすべて言えますか。たくさんのお会いがありましたね。その分だけ、強くなったり、素直になったり、厳しくなったり、優しくなったり、弱気になったり、意地を張ったり、寂しくなったり、辛くなったり、喜んだりを繰り返しながら本当に君は大きく成長しました。それらの思い出のいちページ、いちページを全部胸にしまって今日、新たな夢に向かって旅立つんですね。つきなみだけど、卒業おめでとう。

今日の日を一番喜んでおられるのは君のお父さん、お母さんです。何しろ高校を卒業させるまでは親の責任だと思っているんです。また、親戚のおじさん、おばさんもオジー、オバーもとても喜んでいます。本当に良かったね。今の自分があることを、すべての人に感謝できたらいいですね。

さて、これからの君の前途には、これまで体験したことのない日々が待ち受けています。楽しいことよりは辛いこと、楽なことよりはキツイこと、思うようにいかないことが多いんです。泣きたくなること、耐えられないこと、心が折れそうになることが、容赦なく襲ってきます。思いがけない病気になることや、交通事故。何度チャレンジしても失敗すること。いろいろあるんですよ。でもそんな時こそ読谷高校で出会った師を友を思い出して耐えて下さい。部活で鍛えた筋力や早朝で頑張った気力。そして何事にもくじけない心・折れない心の「読高プライド」を思い出して下さい。自分を信じて突き進んでください。一人一人顔が違うように、性格も特徴もやり方もみな違います。ですが、この読谷高校で巡り合った多くの人たちが君を応援し、見守っていることを忘れないでください。

私の名前は Kenyu Yonaha でイニシャルは KY です。君に言いたいことが一つだけあります。名前だけならいいんだけど、いわゆる KY にはなるな。です。人は周りの力で生かされています。ですから周りの様子をよく観察して、周りに感謝することです。自分の独りよがりの生き方を選択することは避けてほしいと思います。KY だと皆に好かれることはありません。周りのおかげで生かされている。そう思えるようになり、自然にそんな行動ができるようになると向こうのほうから勝手に幸せの世界を用意してくれているのです。

私は校長として読谷高校に赴任させていただきました。この1年間君と出会えて毎日が楽しくとても幸せでした。ありがとう。これから先もずっと君の幸せを願っています。